# JCOM2020 菌根研究会 2020 年度大会プログラム

大会実行委員 山田明義・齋藤勝晴(信州大学農学部)

2020年11月21日(土) 信州大学農学部キャンパス 「ゆりの木」資料館 第3研修室

12:00 受付開始

12:20 総会

# 研究発表会

#### 口頭発表(10件)

座長:(調整中)

- 13:00 01 アーバスキュラー菌根菌が土壌から獲得するリン形態の解明〜土壌型・温度・リン施肥量に着目して〜
  - 〇杉原創  $^{1}$  · 宮島奈々子  $^{1}$  · 田中治夫  $^{1}$  · 江沢辰広  $^{2}$  ( $^{1}$  東京農工大学大学院農学研究院 ·  $^{2}$  北海道大学大学院 農学研究科)
- 13:15 02 ダイズにおける共生・栄養獲得モジュールの同定と環境応答 ○多久島輝弥¹・河原愛²・杉村悠作³・江沢辰広¹(¹北大院農・²住友化学・ ³ 岩手生工研)
- 13:30 03 菌根経路を介した窒素輸送に対する植物の応答 ○若森春輝<sup>1</sup>・杉村悠作<sup>2</sup>・江沢辰広<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北大院農・<sup>2</sup>岩手生工研)
- 13:45 04 IU 密度による土着 AM 菌のダイズへの感染予測に土壌理化学性が与える影響
  - ○大友量 <sup>1,3</sup>・森本晶 <sup>1,4</sup>・長岡一成 <sup>1,4</sup>・中村卓司 <sup>1</sup>・唐澤敏彦 <sup>2</sup>・岡紀邦 <sup>1</sup> (<sup>1</sup> 農研機構北農研・<sup>2</sup>農研機構中央研・<sup>3</sup>現農研機構中央研・<sup>4</sup>現農研機構本部)
- 14:00 05 緑肥栽培が土壌中のアーバスキュラー菌根菌の群集構造とニンジンの生育 に及ぼす影響
  - ○澤田拓歩<sup>1</sup>・大和政秀<sup>2</sup>・塚本崇志<sup>3</sup>・宍戸雅宏<sup>2</sup>・日下部亮太<sup>4</sup>・山本幸洋<sup>3</sup>・坂本一憲<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大学大学院園芸学研究科・<sup>2</sup>千葉大学教育学部・<sup>3</sup>千葉 県農林総合研究センター・<sup>4</sup>館山総合高校)
- 14:15 休憩(換気)

座長:(調整中)

- 14:30 06 伊豆諸島の固有種オオシマツツジにおける菌根菌共生メカニズムの解析 ○富永晃好<sup>1</sup>・内山優奈<sup>1</sup>・細口知椰<sup>1</sup>・八幡昌紀<sup>1</sup>・小林裕樹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>静岡大学 総合科学技術研究科・<sup>2</sup>基礎生物学研究所)
- 14:45 07 ラン科植物3種における菌特異性の比較検証

- ○蘭光健人¹・辻田有紀²・遊川知久³(¹鹿児島大学大学院連合農学研究科・²佐賀大学農学部・³国立科学博物館筑波実験植物園)
- 15:00 08 鳥取県内で採集した広義 Sarcodon 属 (Hydnellum 属) の未記載種とその外 生菌根形態について
  - 〇山本樹  $^{1}$  · 早乙女梢  $^{2}$  · 中桐昭  $^{2}$  · 前川二太郎  $^{2}$  · 遠藤直樹  $^{2}$  ( $^{1}$  鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科 ·  $^{2}$  鳥取大学農部)
- 15:15 09 *Hydnum* 属菌の外生菌根形態の多様性とその分類形質としての評価 ○菅原遼<sup>1</sup>・早乙女梢<sup>2</sup>・中桐昭<sup>2</sup>・前川二太郎<sup>2</sup>・遠藤直樹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>鳥取大学大 学院連合農学研究科・<sup>2</sup>鳥取大学農学部)
- 15:30 10 外生菌根から分離したセイヨウショウロ属菌の系統分類と培養特性について
  - ○小長谷啓介¹・山中聡²・木下晃彦³・玉井裕⁴・山中高史⁵(¹森林総合研究所・²森林総合研究所北海道支所・³森林総合研究所九州支所・⁴北海道大学大学院農学研究院・⁵森林総合研究所

15:45 休憩(換気)

#### ポスター発表(5件)

16:00 - 16:45

- P1 北極域タイガ―ツンドラ境界における宿主植物間の外生菌根菌適合性
  - ○宮本裕美子 ¹ Trofim C. Maximov ² 杉本敦子 ¹ (¹ 北海道大学 ² Institute for Biological Problems of Cryolithozone)
- P2 母樹法により作出されたアンズタケ菌根苗の菌株選抜への利用
  - 〇丸山博也  $^{1}$  · 木村将海  $^{1}$  · 竹田結美  $^{1}$  · 高山利治  $^{2}$  · 山田明義  $^{1,3}$  ( $^{1}$  信州大学 農学部 ·  $^{2}$  KOA ·  $^{3}$  信州大学山岳科学研究拠点)
- P3 日本産カキシメジ類の分類学的検討と菌根形態の記載
  - ○青木渉¹・山田明義¹・永井宏幸²・伊藤哲朗²(¹信州大学,²岐阜県保健環境衛生研究所)
- P4 大株キンランがみられる自生地におけるロウタケ目菌の優占
  - ○大和政秀<sup>1</sup>・幸阪亮汰<sup>1</sup>・増井優里佳<sup>1</sup>・合田悠悟<sup>1</sup>・白坂駿成<sup>1</sup>・丸山敦<sup>2</sup>・ 遊川知久<sup>3</sup>(<sup>1</sup>千葉大教育・<sup>2</sup>龍谷大理工・<sup>3</sup>国立科博)
- P5 リン欠乏下における Rhizophagus clarus 及び Rhizophagus irregularis の外生菌糸の 浸出物のメタボローム解析
  - Nuri Luthfiana・稲村希・Tantriani・佐藤匠・及川彰・程為国・〇俵谷圭太郎 (山形大学農学部)

#### 特別講演

座長:山田明義(信州大学農学部)

16:50-17:35 日本のマメ科高山植物と根粒菌の共生関係はいつから?

高梨 功次郎 (信州大学 理学部)

座長:齋藤勝晴(信州大学農学部)

17:40-18:25 アーバスキュラー菌根菌の基盤的研究と共生成立の分子メカニズムの解

明に向けて

川口正代司(基礎生物学研究所)

## 表彰式

18:30-18:40 研究会ロゴ採択の表彰式, 関連学会受賞者の紹介ほかを行います.

## 夕食会(懇親会の代替措置)

18:45-19:45 信州大学農学部キャンパス生協食堂

- ・会費:1,000円
- ・新型コロナ感染症対策のため、通常形式の懇親会は開催しません.
- ・参加者にはお弁当お配りします. 食事中の歓談はお控えください.
- ・食事後の歓談は、マスク等を着用のうえ、少人数で短時間に留めていただけますようお願い致します.

# 発表要項

口頭発表 (一般講演)

発表時間は1演題につき PC の接続時間を含めて15分です. 発表時間12分, 質疑応答2分30秒を目安にして下さい. 発表用のPC は各自ご持参ください.

#### ポスター発表

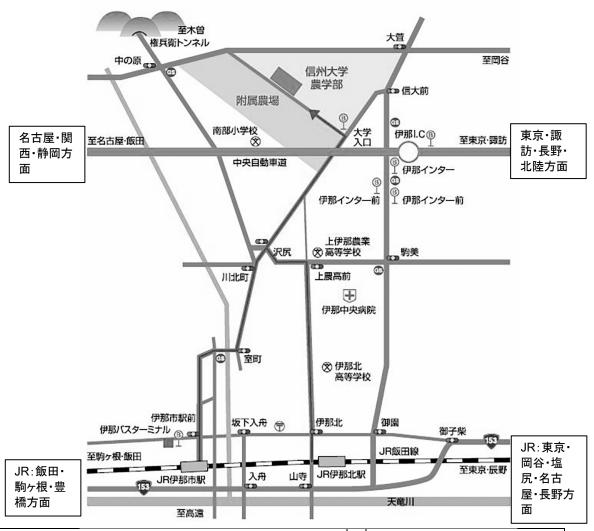
ポスターサイズは A0 タテです. 画鋲等は大会実行委員会で準備します. 発表開始 5 分前の 15:55 までに貼り付けてください.

## その他

当日は土曜日のため、大学内の食堂・生協が休みです。大学近辺にスーパー・飲食店などがあります。会場内の飲食は自由ですが、ごみの始末にご協力ください。

当初予定していた写真コンテストは,都合により中止とさせていただきます.関連学術集会等の広報ポスターやチラシ等の配布をご希望の方は,事前にお知らせください.

## 会場までの交通機関



## 〇中央高速バス利用の場合

#### 東京(新宿高速バスターミナル バスタ新宿)から

- ① 伊那線(駒ヶ根行)に乗車し, バス停「伊那インター前」で下車(約3時間10分). バス停から伊那インター方向に進んで中央道の下をくぐり, その先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門です. 正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分).
- ② 飯田線(飯田行)に乗車し、バス停「中央道伊那インター」で下車 (約3時間10分). バス停の階段をおりて中央道の下をくぐり、その 先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門で す. 正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分)

#### 名古屋(名鉄バスセンター)から

伊那線(伊那・箕輪行)に乗車し、バス停「伊那インター前」で下車(約3時間10分). バス停から伊那インター方向に進んで中央道の下をくぐり、その先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門です. 正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分).

- \*行先によって、バス停が異なります、ご注意ください、
- \*他に、横浜、立川、長野、大阪発の高速バスがあります。

#### OJR 利用の場合

路線バス: JR 飯田線伊那市駅を出て、伊那市駅前交差点を左折すると伊那バスターミナル(停留所名は「伊那営業所」)があります。ここで「西箕輪線」に乗車(17分)し、「大学入口」で下車、バス停の横にある農学部正門を入って徒歩約5分(400m)で講義棟・管理棟があります。

**タクシー:** JR 飯田線伊那市駅または 伊那北駅からタクシー乗車(約 10 分)

#### 〇自家用車利用の場合

中央道伊那インターを出て、インター 正面の交差点を右折. その先約 500m の信大前交差点を左折すると約 120m で農学部正門があります. 正門から約 400m 進んだ左側に駐車場がありま す

信州大学 伊那キャンパス (農学部) マップ

